

2

性風俗に係る人々の HIV 感染予防・介入手法に関する研究
女性セックスワーカーの意識・行動調査

研究分担者： 東 優子 (大阪府立大学)

研究協力者： 要友紀子 (SWASH)・タミヤリョウコ (Sexy Mountain)

鍵田いずみ (MASH 大阪)・青山 薫 (京都大学文学研究科 GCOE 助教)・

野坂 祐子 (大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター)・その他

研究要旨

国内の性娯楽施設・産業において急成長している無店舗型性風俗特殊営業(派遣型ファッションヘルス、以下「デリヘル」)における女性従業者(セックスワーカー、以下 SW)の HIV/STIs 予防に関する意識・行動を調査し、HIV/STIs に対する性感染症への感染脆弱性および予防対策ニーズを検討することを目的として、SW 当事者と支援者からなるアドボカシー団体 Sex Work and Sexual Health (以下、SWASH) などの協力を得て、スノーボール・サンプリング法による自記式質問紙調査(30 項目)を実施した。調査期間は、2009 年 12 月から 1 月までの 2 ヶ月間とした。回収した 377 票のうち、357 票を有効票として分析対象とした。結果について、1) 回答者の属性、2) 初めての性風俗、3) 提供しているサービス内容とコンドーム使用、4) 直近のサービス提供において、感染のリスクが高い行為をしながらコンドームを使用しなかった理由、5) 男性顧客の「ホンバン(本番)」要求、6) 性感染症・HIV 抗体検査の受検率、7) 性感染症の罹患経験、8) サポートシステム、9) 風俗嬢の安心・安全などについて、分析・考察した。

問題の背景

日本には、様々なタイプのセックスワークが存在している(総括報告書・表 1: p.4 参照)。現在、国内においては「売春防止法」(通称「売防法」、昭和 31 年 5 月 24 日制定)が施行されていることは周知の事実である。これは「対償を受け、又は受ける約束で、不特定の相手方と性交すること」(第 2 条)を禁止するものであり、ここでいう「性交」は、膣・ペニス性交(通称「ホンバン(本番)」)を指し、例えば MSM の「ウリ専」によるセックスワークは売防法に抵触しない、と一般に解釈されている。また、同法律では、売春の「勧誘」や「周旋」などには刑事罰が科せられるが、売春者(SW)は保護更生の対象となっている。(しかし、現実の運用においては様々な理由により SW が犯罪者として取り締まられることもある。)

現在、国内で合法的に営業されている性娯楽施設・産業は、昭和 23 (1948) 年に制定された「風俗営業取締法」(通称「風営法」)を大幅に改正した「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」(通称「風適法」、1984 年改正)に基づき、風俗営業の種別に応じて、営業所の所在地を管轄する都道府県公安委員会(「公安委員会」)により営業が許可

される形が取られている。同年に「トルコ風呂」から改称した「ソープランド」もまた、半ば公然と「ホンバン(本番)」が行われていることで知られるが、法的には「個室を設け、当該個室において異性の客の性的好奇心に応じてその客に接触する役務を提供する営業」として(「ホンバン(本番)」は業務に含まれないものとして)、上記「風適法」における「店舗型性風俗特殊営業」に分類され、合法的に営業されている。

「わが国における性風俗産業の沿革」(松沢、2000)によれば、国内における性風俗産業の流れは以下の通りである。

1589～1946 年 公娼時代

1945～1948 年頃 街娼時代

1946～1958 年 赤線時代

1958 年～ 売防法時代

・ トルコ風呂時代：1958 年～

・ ピンクキャバレー・ピンクサロン時代：1960 年代前半～

- ・ 性解放時代（ホンバンサロン登場、ラブホテル乱立、「素人」の参入など）：1970年代前半～
- ・ ノーパン喫茶時代：1979年～
- ・ 新風俗時代（ファッションヘルス登場）：1980年代前半～
- ・ 新風営法施行：1984年
- ・ テレクラ時代：1980年代後半～
- ・ 援助交際時代：1990年頃～
- ・ デリバリー時代：1999年～

現在では、ごく一部の地域（旧赤線地域が多い）を除き、全国的にソープランドの新規出店が規制されていることから、その数は減少の一途を辿っている。一方、急成長を遂げているのが「無店舗型性風俗特殊営業」（デリバリーヘルス、以下デリヘル）である。1998（平成10）年に、「人身取引の防止と違法営業の抑止」を目的として「風適法」が改正され、規制が厳しくなったことにより「デリヘル」の数は一時的に激減したが、近年は再び増加する傾向がみられる（図1）。

「性風俗に係る人々」は、国内のエイズ対策における「個別施策層」のひとつである。エイズ対策研究事業にセックスワーカー（以下、SW）当事者が参画した初年度は、平成11年度「HIV感染症の疫学研究」であり、池上千寿子を分担研究者とし、これをきっかけに発足した、SW当事者と支援者のアドボカシーを行う自助組織SWASH（Sexual Work and Sexual Health）による「日本在住のCSWにお

けるHIV、STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究」が実施された。これは、「HIV感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究」（研究代表者・木原正博）に引き継がれ、平成12年度「性産業従事者の知識、行動、予防介入に関する研究」（研究分担者・池上千寿子）、平成13年度「日本在住のSWにおけるHIV/STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究」（研究分担者・池上千寿子）、平成14年度「日本在住のSWにおけるHIV/STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究」（研究分担者・木原正博）が実施された。また、平成14～16年度には「個別施策層に対する固有の対策に関する研究」（研究代表者・樽井正義）の分担研究課題として「性産業従事者に関する対策の研究—SWにおける予防対策の現状、および、SW当事者を中心とした支援対策と行政・NGOの連携に関する研究」（研究分担者・水島希）も重ねて実施されている。

本研究は、エイズ対策研究事業として分担課題ではなく、独立した研究課題「性風俗（性娯楽施設・産業）」を冠した平成18～20年度「日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」（研究代表者・東優子）の体制を引き継ぐものであり、平成11年度からエイズ対策研究事業に参画してきたSWASHも研究協力者となっている。

これまでの研究班がそれぞれの研究成果に基づき、重要な政策提案をしているにもかかわらず、国内における「性風俗に係る人々」に対する組織的かつ継

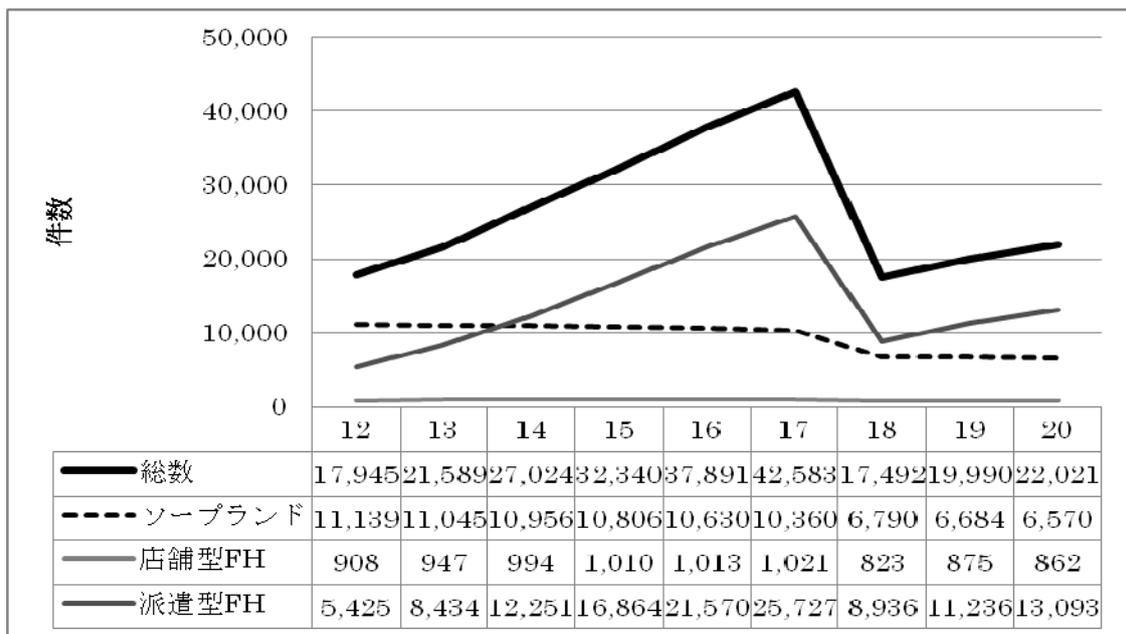


図1 性風俗特殊営業の届出件数の経年的変化（出典：警察庁『警察白書』より作成）

続的な施策は実施されていない。個別施策層でありながら、「性風俗に係る人々」への支援は、いわば日本のエイズ対策における「谷間」であり続けている。

国内初ともいえる、男性顧客の性娯楽施設・産業利用状況および HIV/STDs 予防に関する意識・行動を調査した研究(徐・東他, 2007; 2008)では、コンドーム使用について「一般のユーザーは“ルール化”“規範化”の戦略に反応しやすい」ことが示唆されており、諸外国で高い効果が注目されている「100%コンドーム使用政策」の、国内での(諸外国での負の経験を踏まえた当事者コミュニティ参加型)実施に向けた具体的取り組みが期待される。

研究目的

諸外国で高い効果が注目されるプログラム・政策も、日本型の、そして何よりもコミュニティ参加型での実施が検討されることが期待されている。女性 SW を対象とした先行研究(池上他, 2000; 2001; 2002; 木原他, 2003; 要・水島, 2005; 他)も、すでに実施時期から 10 年が経過しており、多様化・複雑化する今日の性風俗産業の実態を把握する必要がある。

そこで、国内の性娯楽施設・産業において急成長している無店舗型性風俗特殊営業(派遣型ファッションヘルス、以下「デリヘル」)における女性従業者(セックスワーカー、以下 SW)の HIV/STIs 予防に関する意識・行動・就労環境を調査し、HIV/STIs に対する性感染症への感染脆弱性および予防対策ニーズを検討することを目的とする。

研究方法

1) 方法

自記式質問紙を用いた留め置き法を実施した。調査対象者は、ノーボール・サンプリング法により、SWASH(SW 当事者と支援者のアドボカシーを行う自助組織)関係者、性風俗特殊営業関係者(経営者、店舗マネージャーなど)を通じて協力を許諾した女性従業員である。質問紙の返送方法として、回答者には、①研究室へ直接郵送、②待機している調査員に密閉された封筒に調査票を入れて提出する、2 種類が提示されたが、すべての質問紙は①により回収された。回答者には、インセンティブとして現金 1,000 円が謝礼として支払われた。

配布・集票期間は、2009 年 12 月から 2 月上旬であり、377 票が回収された(内、有効票は 357 票)。

2) 対象

本調査の回答者は、関東圏で展開するデリヘル・

チェーン店の従業員が 87%を占めており、平均年齢は 33.15 (±7.248) 歳、主婦/家事専業者が 37.3%を占めるという特徴をもつ。セックスワークを始めてからの平均年数は、約 4 年であった。

3) 調査内容

質問紙は、説明文を含めて 10 ページ 29 項目(大項目)であり、プリテストでは、記入に要する時間は自由記述を除いておよそ 15 分であった(添付資料参照)。

4) 倫理面への配慮

本研究は、大阪府立大学人間社会学部・人間社会学研究科研究倫理委員会の審査を受け、承認された。

おもな倫理面への配慮は、以下の通りである。

- ・ 「疫学研究に関する倫理指針」に準じて研究を実施する。
- ・ 本研究は人権や社会的背景に配慮した施策が必要とされる「個別施策層」に対する研究であり、信頼関係に基づく研究の実施に最大の努力を払う。調査協力はあくまで任意であり、強制的な参加とならないよう、調査を実施する店舗の経営者およびマネージャーに周知徹底を図る。インフォームド・コンセントをとる上で、調査の意義や目的、データの保管や利用について明確にした上で、自発的な協力への意思を確認するために、本調査項目に入る前の「事前確認項目」を設ける。
- ・ 調査協力者に対しては、調査協力依頼書・調査票とともに、昨年度までの研究班(代表者 東優子)の調査報告を含む予防啓発用リーフレット、セックスワーカー支援団体 SWASH が作成した「働き方マニュアル」(性感染症の予防啓発リーフレット)など、研究班のホームページや各種相談機関・支援団体に関する情報をパッケージ化したものが配布される。これにより、調査の目的や参加のメリットを知る機会、各種相談機関や支援団体など社会資源とつながる情報、調査結果をフィードバックする機会を提供する。
- ・ アンケートは無記名で封入のうえ提出する形とし、回答内容が第三者に見られないよう配慮する。回収データは入力分析ののちに、研究代表者が責任をもって廃棄する。
- ・ 調査結果を発表する際は、調査協力者が同定されかねないような情報は改変したり、非公表扱いとする。回答・インタビュー記録は研究目的以外に使用しない。研究補助を行う者について

も、補助作業において知りえた情報を口外しないよう指導を徹底する。

研究結果と考察

1) 回答者属性

回答者の年齢は、16歳から54歳までの間で、平均33.15(±7.248)歳で、50パーセンタイルは「30-39歳」となった(図2)。性風俗で働き始めてからの年月は、1か月未満から20年までの間で、平均51.82カ月(±47.53)＝約4年であった。

これまでに経験したことがある性風俗の仕事内容(現在を含む複数回答)は、今回の調査票配布・収集先がもっぱら派遣型ヘルス店であったことを反映して、回答数の多かった順に、派遣型ヘルス90%(n=318)、店舗型ヘルス51%(n=182)、キャバクラ33.6%(n=119)、ピンクサロン26.3%(n=93)、ソープランド16.4%(n=58)、個人売春12.1%(n=43)であった。

性風俗で働く以外の場面での職業では、主婦(37.3%)と家事手伝い(10.4%)を合わせて47.7%と最も多く、アルバイトやパート(16.5%)、契約・派遣職員(8.1%)、常勤職員(5.5%)、その他の自営業者など、性風俗以外の経済活動をしている人が33%を占めた。

学歴は、(高校中退者を含む)最終学歴が中卒24.4%、高卒36.2%、大学・大学院に進学した人が11.2%であった。

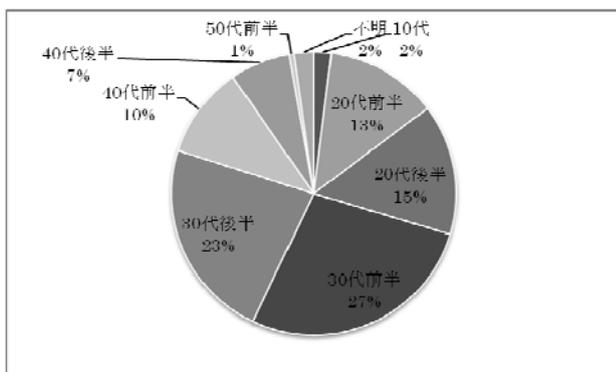


図2 回答者の年齢構成 (N=357)

2) 初めての性風俗(図3)

初めて性風俗の仕事に就いた年齢は、14歳(現在21~23歳)から53歳(現在54歳)までの間で、平均25.8(±7.68)歳であった。最初に就いた性風俗の業種は、派遣型(35%)と店舗型(22.5%)を

合わせて「ファッションヘルス」が57.5%と最も多かった。全体で23%の「個人売春」は、18歳未満で初めてセックスワークをした回答者(n=12)において顕著であり、その半数を占める。

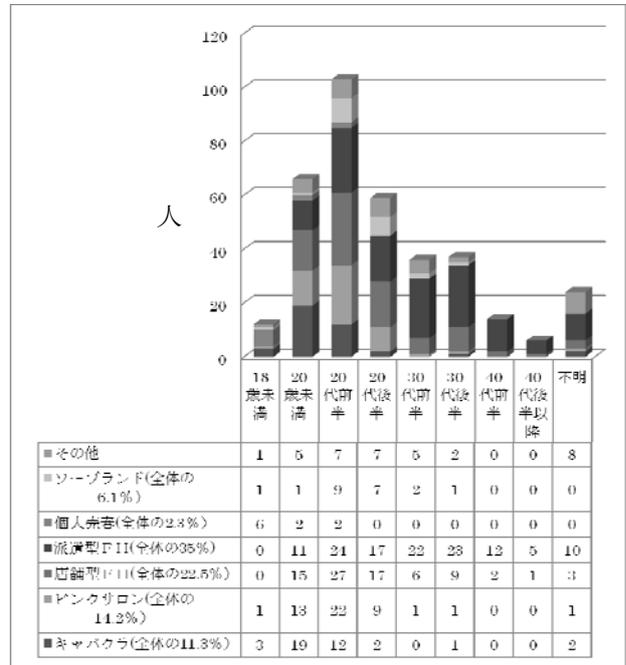


図3 初めての就いた性風俗×当時の年齢 (N=354)

3) 提供しているサービス内容とコンドーム使用

「現在のお店で提供しているサービス」について尋ねたところ、回答率の高かった順に、以下の結果となった(N=347)。

- ・ 手でペニスを刺激する 98.8%
- ・ ディープ・キス 96.5%
- ・ フェラチオ 95.4%
- ・ 睾丸を舌で刺激する 95.1%
- ・ 素股(すまた) 95.1%
- ・ クンニ/クンニリングス 92.8%
- ・ 男性の指を膣あるいは肛門に入れる 91.1%
- ・ 口内射精 91.1%
- ・ 肛門を舌で刺激する 79.0%
- ・ 前立腺/アナルマッサージ 55.6%
- ・ アナルセックス 22.8%
- ・ ホンバン(本番) 10.4%
- ・ その他 3.5%

こうしたサービスを提供する際にコンドームを使用するかを尋ねたところ、「サービスとして提供していない」「答えたくない」を除く回答者の「使用しない」率は、以下のとおりであった(図4)。

- ・ 素股 (N=326) 使用しない 54%
- ・ フェラチオ (N=330) 使用しない 56%
- ・ 口内射精 (N=322) 使用しない 70%
- ・ アナルセックス (N=95) 使用しない 21%
- ・ ホンバン (N=56) 14%
- ・ 相手が好みの人だったから 1.5%
- ・ 相手が馴染みの人だったから 5%
- ・ 指名を取りたかったから 2%
- ・ お店にはコンドームが常備されていないから 1.5%
- ・ お店でコンドームの使用が禁止されているから 1.5%

・ その他 4.5%

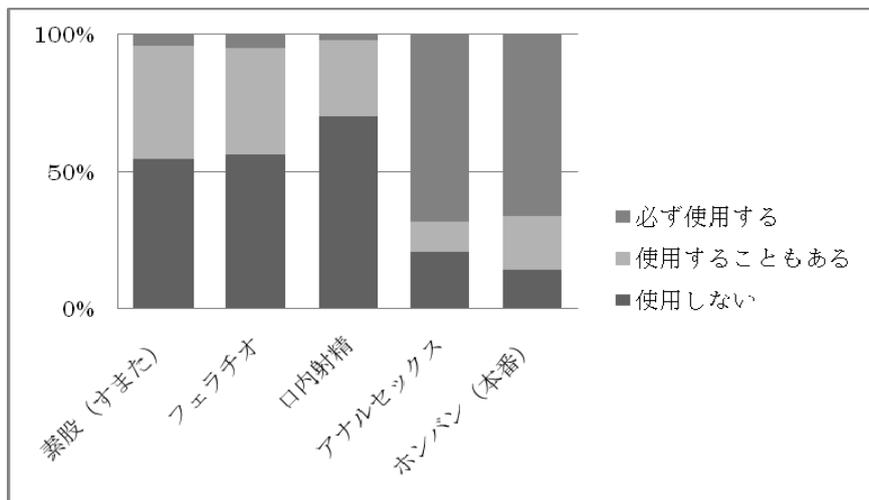


図4 サービス提供時のコンドーム使用率

その他の自由記述では以下の回答例が見られた。

- ・ 「コンドームを使用しないことがサービスだから」(店舗型ファッションヘルスで「素股 (すまた)」「フェラチオ」を提供した女性)
- ・ 「生が基本のサービスだから」(デリヘルで「素股 (すまた)」「フェラチオ」「口内射精」を提供した女性)
- ・ 「サービス内容がゴム無しが基本」(デリヘルで「素股 (すまた)」「フェラチオ」を提供した女性)

4) 直近のサービス提供において、感染のリスクが高い行為をしながらコンドームを使用しなかった理由

直近の性的サービスでコンドームを使用しなかったと回答したのは、全体の67.5%に当たる228名である。そのうち、提供したサービスに、素股 (すまた)、フェラチオ、口内射精、アナルセックス、ホンバン (膣性交) があったと回答した201名を対象に、「コンドームを使用しなかった理由」を調べたところ、結果は「コンドームを使う必要のないサービス内容だったから」が81%と最も多かった。その他の結果は以下の通りである (複数回答)。

- ・ コンドームを使う必要のないサービス内容だったから 81%
- ・ お店から「ナマでしろ」といわれているから 8%
- ・ 男性が勃起しにくく、あるいは勃起を維持しにくくなるから 7%
- ・ 相手が嫌がったから 4%
- ・ 他の避妊方法 (ピル・リングなどの妊娠予防策) をとっていたから 4%
- ・ 相手が「どうしても」と、しつこかったから 1.5%

- ・ 「本番する訳ではないので暗黙の了解的な感じで使用しない」(店舗型ファッションヘルスで「フェラチオ」「口内射精」を提供した女性)
- ・ 「今時ゴム使用のサービスなんてかせげないから」(デリヘルで「素股 (すまた)」「フェラチオ」「口内射精」を提供した女性)
- ・ 「性病でも、真性包茎でもなかったから」(店舗型ファッションヘルスで「素股 (すまた)」「フェラチオ」「口内射精」を提供した女性)
- ・ 「ゴムフェラだと、ゴムくさいから」(デリヘルで「フェラチオ」「口内射精」を提供した女性)
- ・ 「面倒くさいから」(店舗型ファッションヘルスで「素股 (すまた)」「フェラチオ」を提供した女性)

SW や「デリヘル」の経営経験者、現役店長・マネージャーなど、関係者へのインフォーマルなインタビューにおいても、ソーブランドなど「ホンバン (本番) 系」においては、コンドーム使用率が8割に達するのではないかと、という意見が多く聞かれた。これに対して、「非ホンバン (本番) 系」と称される

「ファッションヘルス」業界においては性的サービス提供時にコンドームを使用しないことが「常識」となっているという。

「素股（すまた）」と称される行為は、挿入行為を伴わずに下半身を使って男性の性器を刺激することを意味するが、性器同士が直接接触し、誤って挿入されることもあるという。セックスワーカーが性感染症（HIVを含む）に罹患するリスクは避けられない状況にあるといえる。

5) 男性顧客の「ホンバン（本番）」要求

業態と提供されるサービスのズレについては、男性顧客の性娯楽施設・産業利用状況およびHIV/STDs予防に関する意識・行動を調査した研究においても指摘されているところである（徐・東他、2008）。たとえば同調査での、直近の性風俗利用で「ホンバン（本番）行為」があったと回答したのは、ソープランド 94.9%、店舗型ファッションヘルス 37.6%、派遣型ファッションヘルス（デリヘル）70.8%であった。

今回の調査で、「現在のお店で、ホンバン（膣性交）を要求するお客さんはどれくらいいますか？」と尋ねたところ、平均 5.57（±3.094）人であった。経営者・店舗マネージャーなどへのインフォーマルな聞き取り調査では、「非ホンバン（本番）」系に従事する女性の約半数は、（店側が厳しく禁じている場合でも）個人的にこうした要求に応じているのではないかと予想していた。今回の調査結果で、その予測を裏付けるデータは得られなかったものの、少なくとも「ホンバン（本番）」を要求する多くの男性顧客への対応に、SW が個別対応しなければならない実態の存在が示唆された。

また、一部の経営者らは、コンドーム使用徹底の必要性を認識していたとしても、法律で禁じられている行為は業務に含まれていないことになっているため、コンドームを店内に常備したり、コンドーム着用を義務付けることが困難であると感じているという。このことは、前述の「ホンバン（本番）」をしない限りにおいて、「コンドームを使う必要のないサービス内容だったから」コンドームを使用しなかったとする回答者（n=163）の誤った認識にも影響していると言える。また、顧客の不当な要求への対処、コンドーム購入などを含め、性の健康管理については、SW がすべて自衛手段を講じるしかない状況が

常態化していることは、重大な問題である。

6) 性感染症・HIV抗体検査の受検率

HIV抗体検査の受検状況は以下の通りであった（N=354）。

- ・ 受けたことがない 22%
- ・ 受けたことがある 75.7%

1週間以内	1.5%	半年以内	15.8%
1か月以内	26.0%	1年以内	15.5%
2か月以内	14.7%	それ以外	16.2%
3か月以内	10.2%		

受検場所は、かかりつけの医院／病院（58.0%）が最も多く、郵送検査キット（16.7%）、お店の契約している医療機関（16.0%）に比べて、保健所（7.8%）の利用は低かった。

HIV抗体検査以外の性感染症検査に関する結果は以下の通りであった（N=344）。

- ・ 受けたことがない 12.8%
- ・ 受けたことがある 87.2%

1週間以内	1.7%	半年以内	15.2%
1か月以内	30.0%	1年以内	13.5%
2か月以内	18.5%	それ以外	10.8%
3か月以内	10.4%		

受検場所は、かかりつけの医院／病院（65.7%）が最も多く、郵送検査キット（17.2%）、お店の契約している医療機関（15%）、保健所（1.7%）と続く。

7) 性感染症の罹患経験

性感染症の罹患経験をたずねた結果は以下の通りである（複数回答、N=341）。

- ・ カンジダ 54.3%
- ・ クラミジア 33.7%
- ・ 性器ヘルペス 6.2%
- ・ B型肝炎 0.6%
- ・ 尖形コンジローム 3.5%
- ・ 淋病 10.9%
- ・ 梅毒 2.3%
- ・ わからない 4.7%
- ・ その他（毛じらみ等） 6.5%

8) 不快な経験とサポートシステム

これまでに性風俗で仕事をするなかでの不快な経験についてたずねた結果は以下の通りである

(N=354)。

- ・ 相手の望む性行為に応じなかったため、相手が不機嫌になった 60.5%
- ・ 相手の容姿や性格がいやだった 54.5%
- ・ 性器のかゆみやおりもの(膣分泌液)の変化があった 48.9%
- ・ 自分の中で、精神的苦痛が残った 46.9%
- ・ 自分がしてほしくない性行為をされた・させられた 42.1%
- ・ 相手に見下したような態度をとられた 41.5%
- ・ 性感染症(性病)にかかった 30.2%
- ・ 相手に、自分の容姿や性格を悪く言われた 28.0%
- ・ 相手から、ストーカー行為(つきまとい)をされた 21.2%
- ・ 妊娠したかもしれないと、心配した 19.5%
- ・ 勝手に写真やビデオをとられた 14.1%
- ・ 自分ではコンドームを使いたかったのに、使わずにセックスをした 10.5%
- ・ 暴力をふるわれた 7.3%
- ・ 事前に約束していたお金を払ってもらえなかった 6.5%
- ・ 勝手に自分の名前や連絡先(アドレスなど)を外部に流された 2.0%
- ・ その他、いやな経験をした 7.6%
- ・ 上記であてはまる経験は何もない 5.1%

「その他のいやな経験」には、以下の事例などが報告されている。

- ・ 殺人未遂
- ・ 強姦未遂/ホンバン(本番)強要
- ・ お金を盗まれた
- ・ 違法薬物
- ・ 店がコンドーム不使用を強要
- ・ 客の乱暴な扱いによる出血・ケガ

中でも、ホンバン(本番)強要が最も多く、「本番をむりやりやられ生出しされた。入店3カ月頃」「ヘルスで無理やり生本番。ピル服用していなかった為、妊娠。→中絶」といった書き込みもみられた。

これらの質問項目は、18歳から29歳の女性2,264名(平均年齢 22.7 ± 2.78 歳)を対象にした調査(野坂・内海・東・徐・渋井, 2008)で用いたものを再掲したものである。青年期女子における金銭が介在する性行動の実態を明らかにしようとした同調査では、金銭の授受を伴う性行為の際に不快な経験をもった者が77.3%おり、「コンドームを使わないセックスをした」者も2割程度存在した。しかしながら、金銭の授受のない性行為においても、回答者のうち83.7%が不快体験を経験しており、なかでも「妊娠したかもしれないと、心配したこと」の経験がもっとも多かった。金銭の授受のない性行為においては、「コンドームを使わないセックス」の割合も高く、セクシュアルヘルスの問題が示された。本調査でも、性風俗の仕事以外の場面でしたセックスにおける不快な経験をたずねており、2つの調査を比較した結果を次に示す(図5)。

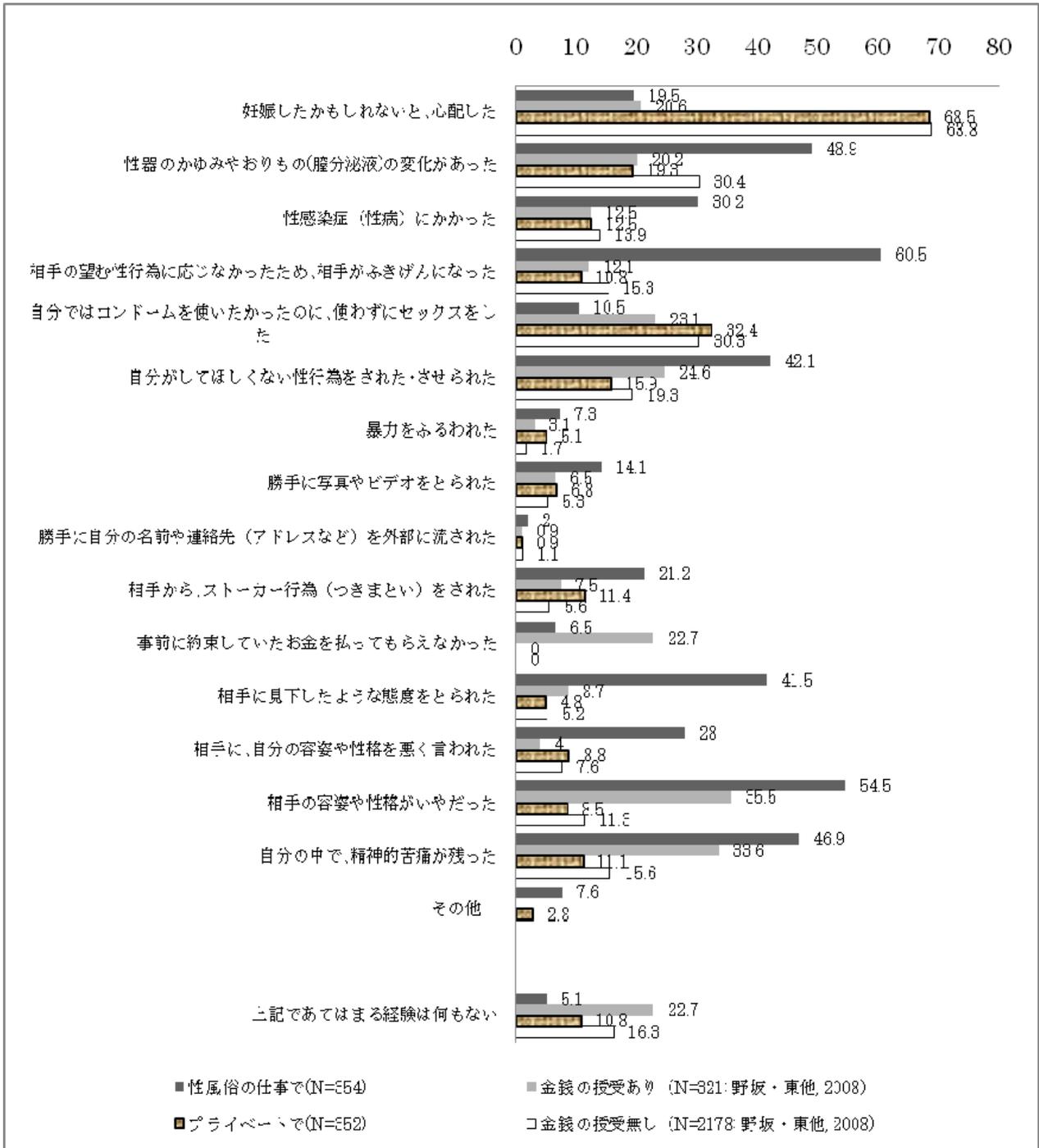


図5 不快な経験：セックスワーク（および金銭の授受を伴うセックス）vs.プライベート（および金銭の授受を伴わないセックス） 本調査と先行研究（野坂・内海・東・徐・渋井, 2008）の比較

比較において、「妊娠したかもしれないと、心配したこと」「自分ではコンドームを使いたかったのに、使わずにセックスをした」経験などにおいて、セックスワークおよび金銭の授受を伴う場合よりも、プライベート・セックスあるいは金銭の授受を伴わないセックスの場合のほうが高率になるという結果はみられるものの、その他の項目において、本調査のSWと先行研究の金銭の授受を伴うセックスの経験

がある青年期女子では顕著に異なる結果もみられる。年齢、経験年数、素人／玄人の違いなど、さまざまな要因が考えられるが、詳しい分析や考察については、今後に委ねたい。

なお、本調査においては、こうした不快な経験を含み「性風俗の仕事に関する疑問や悩みがある場合、おもに誰に相談をしますか？」という質問をしている。その結果は以下の通りであった（N=343）。

・ 性風俗で働く仲間	70.3%
・ マネージャー／経営者	29.2%
・ 性風俗で働く仲間以外の友人	19.0%
・ 誰にも相談しない	12.5%
・ 恋人	8.2%
・ 配偶者	0.9%
・ 家族	0.6%
・ その他(馴染みの客、病院)	3.8%

経営者・店舗マネージャーらへの聞き取りからは、「若い世代ほど、横のつながりが薄い」との意見も聞かれたが、本調査の結果からは、ピア・サポートシステムが機能している可能性が示唆された。しかし、たとえば諸外国における SW 当事者団体が数百から数千規模のメンバーで構成されているのに対して、国内で主だった活動をしているのは構成員が数名である SWASH のみであり、日本には「SW コミュニティの不在」が指摘される場所である。研究班では、2009 年に発足した国内初のキャバクラ従業員のための労働組合「キャバクラ・ユニオン」を招へいた勉強会を開催するなど、SW の連帯やコミュニティ開発における課題に関する検討を行っているところである。

9) 風俗嬢の安心・安全はあるのか

最後に、「あなたは、風俗嬢が安心・安全に働くためには、何が必要だと思いますか」という問に対して、187 名が様々なコメントを寄せている。以下は、代表的な記述の一部である。

a. 顧客のモラルやマナーの向上・検査の実施

- ・ サービスを受ける客に性病についての関心を持ってほしい。お金を払っているからと無理な強要をせず、楽しく遊んでほしい。
- ・ 風俗で遊ぶ男性の性感染症に対する意識の向上。男性の性病検査の実施。
- ・ 客のモラルを育てること(金さえ払えばなんでもありという意識を変える)
- ・ お客が納得、満足してもらうのはとても難しいと思うが、お客が割り切って遊んでいく姿勢を持ってもらいたいと思う。
- ・ 本番強要の客が多い。撲滅して欲しい。
- ・ 本番ができるのはソープだけだと分かってほしい。

- ・ 清潔感をもって欲しい。
- b. コンドーム使用の徹底
 - ・ 仕事でゴムを必ずつけるという様にして欲しい。フェラとかでも。
 - ・ すべての行為にゴムの着用を OK にする。
 - ・ コンドームを絶対つけるサービスだと安心。
- c. 信用できる経営者(お店)の管理運営体制・従業員サポート
 - ・ 経営者・従業員の意識・知識
 - ・ お店の管理体制(仕事上の女性への配慮等)の強化
 - ・ 頼れる従業員さんが側にいること
 - ・ 店から客へルールを伝える。お金を払えば何をしてもいいという客は断ってほしい。
 - ・ 金銭授受は店と客が直やってほしい、有無なく客と店で接点を持つことができる。
 - ・ 店は客を選別してほしい。酔客や本番を強要する客は事前に NG にしてほしい。
 - ・ 衛生的な店づくり。汚い、変な客を入れない。
 - ・ 女の子に明かさなくてもいいので、お店の方でお客様の身分証の提示などをしてもらえると安心だと思います。
- d. 自己管理・自覚(プロ意識)・知識・技術
 - ・ 性病に関する知識をきちんと身につけ、相手の性器等に発見した時に、悩まず速やかに判断できる能力です。
 - ・ お店と女の子の意識をしっかりとさせること。目先のお金だけで病気になるような仕事を続けさせないこと。どうやったら客を喜ばせることができるのか考えること。
 - ・ 本来ならコンドームを使用すること。客の要求を無理に受けないこと(本番以外のサービス)
 - ・ 何が何でも体が基本で自分の体は自分で守る。
 - ・ 自分の意思大事にする気持ち。
 - ・ 若いうちにコノ仕事につくと男性を見下すことが多くなり、男性(客)も高飛車な態度に腹を立て乱暴になることが多くある。
- e. HIV 抗体/性感染症検査
 - ・ お客も私達も全員検査すべき。性病検査も気軽に安く受けられるようになれば性病は減ると

思います。

- ・ どんなに検査をして気をつけていても、客が病気を持っていたらうつってしまいます。男性にこそ検査が必要だと思います。
 - ・ 男性客の性病検査を簡単に実施できる場所があれば性病は減ると思う。
 - ・ 強制的な性病検査の履行・他のコンパニオンと客を共有しているので感染が心配・新人が入店したら検査で陰性が確認されてから仕事に就かせてほしい。
 - ・ 病気に罹ってしまうリスクは高いですが一般人はほとんど請けたことの無い検査などをして自分で気をつけています。(性病検査)。後は店の仲間がきちんとしていけば病気が蔓延することは無いと思う。
 - ・ 性病検査をこまめに受ける。でも、性病検査の値段が高いので無料か安めにしたい。
 - ・ お客様の意識向上(清潔にする等)だとは思いますが、現実問題としては性病検査の料金をリーズナブルに・・・等か。
- f. 相談機関・専門職によるサポート
- ・ 風俗で働いていることを婦人科の先生に言いづらいので、風俗で働いている子たちが相談しやすい病院(先生)があれば、もっと気軽に病気の検査もしやすいと思います。検査料が高いのも難点です。
 - ・ プロのアドバイザーを作った方が良さそう。どうしてもお店の人だとおそげさがあるから、同じ女性スタッフが少ない・・・。プロのお医者さんのアドバイスコナーを作ってほしい。
 - ・ 税金のそうだん等が出来る所。
 - ・ 困ったときに相談に乗ってくれる弁護士がほしい。
 - ・ ストーカー行為などを相談できる機関がほしい。
 - ・ 学校で教えてもらえないことをどこで知ればいいのかそういう場所が必要。
- g. セックスワークに対する社会の意識を変える
- ・ 性風俗に対しても世間の意識を変える。底辺の仕事という意識・見下しを変える。性風俗がこの世に必要な職業だということはいつの時代

もあり、世界中にある文化。性風俗は性的にも精神的にも貢献している。実際に身内には要求できないようなことを要求し、支える役割をしている。もっと世間が尊敬すべき職業だと思う。

- ・ 風俗に対する理解。偏見をなくすこと。→性犯罪を抑制するものとなっている、との理解。
- h. その他
- ・ 労働組合
 - ・ 法的に整備をもっとしてほしい
 - ・ ハイリスクハイリターンの仕事です。たくさんお金を頂く代わりにそれに伴って支出も増えます。例えば月1回の性病検査は保険適応がありません。接客するにあたって自分自身をきれいに保つことも仕事の一部です。そのための支出も経費の一部だとは思いますが保障も退職金も支払われない現状に疑問を感じています。定期的に決まった金額を受け取れるわけではないので支払いがママならないことがあります。必要経費に対する保障が少しでもあればと思います。あとは男性の風俗嬢に対する価値観が低すぎるので女性は恐い思いをすることがあります。もう少し人間らしく仕事ができればと思います。
 - ・ 風俗で働くのは自己責任だと思うので自分で身を守るしかないと思います。当然遊ぶ人も自己責任です。自分の見は自分で守るしかないです。
 - ・ 安心・安全に働くことはできないと思う。
 - ・ 男性の求めるサービスが過激になっているので、難しい事だと思います。

結論

エイズ対策事業における「個別施策層」のなかでも、本研究班が対象とする集団は極めて接近困難である。一説には国内に数十万人と推計されるSWを含む、性風俗に係わる人々が接近困難である背景には、国内法や地方自治体の条例など、他の「個別施策層」では経験されない問題が大きく影響し、対象者との信頼関係の構築および調査実施の最大の障壁となる。具体的かつ有効な介入手法の開発・実践においては、SW 当事者および経営者・店長・その他性風俗業界の関係者など、異職種・学際的なメンバーで構成されるタスクフォースによるデータの分析

が必要である。

研究報告書(研究代表 東優子) 2008.

謝辞: 本調査にご協力くださった女性および関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。

(参考文献)

池上千寿子他 日本在住のCSWにおけるHIV、STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究。平成11年度HIV感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究総括・研究報告書。(研究代表者・木原正博) 2000年3月。

池上千寿子他 性産業従事者の知識、行動、予防介入に関する研究。平成12年度HIV感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究総括・研究報告書。(研究代表者・木原正博) 2001年3月。

池上千寿子他 日本在住のSWにおけるHIV/STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究。平成13年度HIV感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究総括・研究報告書。(研究代表者・木原正博) 2002年3月。

要由紀子・水島希(2005)『風俗嬢意識調査—126人の職業意識—』ポット出版。

木原正博他 日本在住のSWにおけるHIV/STD関連知識・行動及び予防・支援対策の開発に関する研究。平成14年度HIV感染症の動向と予防介入に関する社会疫学的研究総括・研究報告書(研究代表者・木原正博)。2003年3月。

徐淑子、東優子他 性娯楽施設・産業を利用する男性に関する研究。平成18~19年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」総括・分担研究報告書(研究代表 東優子) 2007; 2008.

松沢呉一 わが国における性風俗産業の沿革。池上千寿子他 同掲 2002.

野坂祐子、内海千種、東優子、徐淑子、渋井哲也 青年期女性における金銭が介在する性行動とセクシュアルヘルスの問題—携帯電話のwebアンケートを用いた調査から—平成19年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)日本の性娯楽施設・産業に係わる人々への支援・予防対策の開発に関する学際的研究」総括・分担

健康危険情報

該当なし

研究発表

知的財産権の出願・登録状況

該当なし

研究発表

論文

1. 東優子. 非典型的な「性」をめぐる性科学の言説. 女性学連続講演会記録集「ジェンダーを装う」. 印刷中.
2. 東優子. 第9回アジア太平洋地域国際会議(インドネシア・バリ島) 遣事業帰国報告書 (http://api-net.jfap.or.jp/siryoku/2009_aids_conf/07.htm), 2009.
3. 東優子. セックスワーク&HIV/AIDS. Sex & Sexwork 2: 7-8, 2009.
4. 東優子. 調査報告書への考察. SOD Sex survey 2009~日本人の性意識/性行動の実態調査~ (<http://www.sodsurvey.jp/con06.php>), 2009.
5. 東優子. 「性の健康と権利」に関するグローバルな取り組み. 現代性教育研究月報 8: 1-5, 2009.
6. 東優子. セクシュアリティ概論. 専門家研修テキスト. 日本性教育協会, 2009.

口頭発表

海外

7. Higashi, Y., Suh S., Nosaka S. Condom use among Japanese heterosexual men utilizing the sex entertainment industry. The 19th World Congress for Sexual Health. June 21-25, 2009, Göteborg, Sweden.
8. Higashi, Y., Kamikawa, A. The impact of "GID" on transgender people in Japan. The 21st Biennial Symposium of World Professional Association for Transgender Health. June 17-20, 2009, Oslo, Norway.

国内

9. 東優子、榎本てる子、青木理恵子. セックスワーカーの保健行動阻害要因 コミュニティ参加型プログラムの開発に向けた一考察. 日本エ

イズ学会、2009、名古屋.

10. 野坂祐子、東優子. 青年期女性における金銭が介在する性行動とセクシュアルヘルスの問題: web アンケートから. 日本エイズ学会、2009、名古屋.

資料

セックスの安心と安全に関するアンケート調査

厚生労働省エイズ対策事業の研究班では、2008年度より「性の健康・安心・安全」の支援を目的として、女性のみならず男性とのセックスで経験したことがあることについておたずねするアンケートを継続して実施してきました。

2009年度は、「性風俗における安心・安全」をテーマとして、性風俗店に勤務されている女性を対象とする調査を実施しております。

調査結果は、有効な支援対策に生かされるよう、エイズ対策事業を推進している厚生労働省に報告される他、学会などで発表されます。ただし、掲載で実施されるお店の名前が公表されることはなく、また無記名で回答いただきますので、個人のプライバシーも守られます。お店ごとの結果は発表しませんし、お店への報告もありません。

※記入漏れがありますと、データとして使用できなくなりますのでご注意ください。
 ※すべての質問にご回答いただけただけの場合、謝礼として1,000円を差し上げます。
 ご協力をよろしくお願いいたします。



研究代表者 栗 優子 (大阪府立大学人間社会学部)
 連絡先: hgen@hshw.osaka-u.ac.jp 072-254-9793 (東研究室)
 研究所ホームページ: http://www.sebja.jp
 厚生労働省エイズ対策事業について: http://www.aesha.jp/mh/bw/
 2008年度の調査結果の一部は、調査員が作成する冊子「SEX&SEXWORKVol2」をご参照ください。



※SWASH(Sex Work and Sexual Health)もこの研究に協力しています。
 SWASHは「風俗店の職業訓練 126人の職業実践」(ソフト出版)を実施しました。

研究班では、報告書や学会の他、さまざまな機会を設けて回答していただいた皆さんに結果をご報告するよう努めております。研究所のホームページ (http://www.sebja.jp) では、調査結果のほか、研究成果発表を兼ねたイベント「セックスワーカーのいまも」などの情報もありますので、ぜひご参照ください!

SEX★HEALTH★WORK

本アンケートのイラスト (C) レディー・モモンガ

【回答方法】

- ※あてはまる選択肢の数字を○で囲んでください。
- (例) ① そう思う
 ② そう思わない
- ※回答時、とくに回答が記載されていない場合は、その質問へ進んでください。
- ※「その他」をお書き下さい () を選択した場合は、できるだけ詳しく記入してください。
- ※答えたくない質問には「記入漏れ」との区別をするため「記入したくない」にチェックを入れてください。



【確認事項】

本調査の目的をご理解いただき、アンケートにご協力いただけますか?

1. 協力できる
2. 協力できない () 決了となりません。取の機会がありましたら、よろしくお願ひします。今後の参考のため、「協力できない」理由をお書きいただけますか?

「協力できない」理由

★ここから、本調査に入ります

- 【Q1】あなたの年齢を教えてください。 () 歳 答えたくない
- 【Q2】性風俗で働き始めたどれくらい経ちますか。 計 () 年 () か月 答えたくない
- 【Q3】あなたは週に平均何日くらい働いていますか。また一日平均何時間くらい働きますか。
 週平均 () 日 一日平均 () 時間 答えたくない
- 【Q4】あなたの1か月の収入は、平均してどれくらいですか。 () 万円くらい 答えたくない

- 【Q5】性風俗で働く以外の場面での、あなたの現在の職業・立場として、もっとも近いものは次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。
- | | |
|--------------|--|
| 1. 学生 | 5. 主婦 (家事専業) |
| 2. アルバイト・パート | 6. 家事手伝い |
| 3. 契約・派遣社員 | 7. その他 (お書き下さい) () |
| 4. 無職 | 8. 上記1~7に該当するものはない <input type="checkbox"/> 答えたくない |
- 【Q6】あなたの出身地 (都道府県) を教えてください。 () 県 答えたくない
- 【Q7】あなたの現在の居住地 (都道府県) を教えてください。 () 県 答えたくない
- 【Q8】あなたの学歴を教えてください。あてはまるものを1つ選んでください。
- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 中学校 卒業 | 8. 大学 在学 |
| 2. 高等学校 在学 | 9. 大学 中退 |
| 3. 高等学校 中退 | 10. 大学 卒業 |
| 4. 高等学校 卒業 | 11. 大学院 在学 |
| 5. 高等・短大・専門学校 在学 | 12. 大学院 中退・修了 |
| 6. 高等・短大・専門学校 中退 | 13. その他 () |
| 7. 高等・短大・専門学校 卒業 | |
- 答えたくない
- 【Q9-1】あなたが最初に性風俗のお仕事は、以下のどれでしたか (アルバイトを含む)。あてはまるものを1つ選んでください。
- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 店舗型ファッションヘルス | 7. 接待型料理店 (ちゃんぽん) |
| 2. 派遣型ファッションヘルス (デリヘルなど) | 8. 個人売春 |
| 3. 派遣型デートクラブ、愛人クラブ、ホテル、エスコートサービス | 9. ストリップ劇場 |
| 4. 風俗系エステ | 10. キャバクラ |
| 5. ピンクサロン | 11. SMクラブ・SMハブ |
| 6. ソープランド (個室付浴場) | 12. アダルト・ビデオ (出演) |
| | 13. その他 (お書き下さい) () |
- 答えたくない
- 【Q9-2】その他、あなたは何職でしたか? () 歳 答えたくない

- 【Q10】あなたはこれまでに、以下の仕事 (アルバイトを含む) をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。
- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 店舗型ヘルス | 7. 接待型料理店 (ちゃんぽん) |
| 2. 派遣型ヘルス (デリヘルなど) | 8. 個人売春 |
| 3. 派遣型デートクラブ、愛人クラブ、ホテル、エスコートサービス | 9. ストリップ劇場 |
| 4. 風俗系エステ | 10. キャバクラ |
| 5. ピンクサロン | 11. SMクラブ・SMハブ |
| 6. ソープランド (個室付浴場) | 12. アダルト・ビデオ (出演) |
| | 13. その他 (お書き下さい) () |
- お書き下さい ()
- 【Q11】これまでに働いていた職場で (お店の方針・業務に関係なく) あなたが提供していたサービス内容に、次にあてはまるものはありましたか。あてはまるものをすべて選んでください。
1. ディープ・キス (濃厚なキス)
 2. 手こき (女性の手によってペニスを刺激する)
 3. 玉なめ (睾丸を舌で刺激する)
 4. アナルなめ (女性が肛門を舌で刺激する)
 5. 素股 (挿入せずに、女性の股間でペニスを刺激する)
 6. 指入れ (男性の指を挿入する) は肛門に入れる)
 7. 前立腺/アナルマッサージ
 8. クンニ/クンニリングス (女性性器を相手になめさせる)
 9. フェラチオ (男性性器を口で刺激する)
 10. 口内射精
 11. アナルセックス (肛門性交)
 12. ホンパン/本番 (挿入ペニスを挿入する)
 13. その他 (お書き下さい) ()
- 答えたくない



★ここから、現在のお店でのことをお聞きします。回答内容はお店の関係者には一切お伝えしませんので、正直にお答えください。

【Q12】現在の店で、「ホンパン」(男性交)を要求するお客さんはどれくらいいますか？
およそ10人中()人 答えたくない

【Q13】現在のお店であなたが提供しているサービス内容に、次にあてはまるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(小問答内容はお店に報告しませんので、さびしく感じてください。)

- 1. ディープ・キス (濃厚なキス)
- 2. 手こき (女性の手によってペニスを刺激する)
- 3. 玉なめ (睾丸を舌で刺激する)
- 4. アナルなめ (女性が肛門を舌で刺激する)
- 5. 糞挿/すまた (挿入せずに、女性の股間でペニスを刺激する)
- 6. 指入れ (男性の指を握めるいは肛門に入れる)
- 7. 前立腺/アナルマッサー
- 8. クンニク/クニリングス (女性性器を相手になめさせる)
- 9. フェラチオ (男性性器を口で刺激する)
- 10. 口内射精
- 11. アナルセックス (肛門性交)
- 12. ホンパン/男性交 (陰にペニスを挿入する)
- 13. その他一お書き下さい ()



答えたくない

【Q14】現在のお店であなたが以下のサービスを提供する際、コンドームは使用しますか？あてはまるものをすべて選んでください。(小問答内容はお店に報告しませんので、さびしく感じてください。)

- 1. 糞挿/すまた 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
 4サービスとして提供していない 5答えたくない
- 2. フェラチオ 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
 4サービスとして提供していない 5答えたくない
- 3. 口内射精 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
 4サービスとして提供していない 5答えたくない
- 4. アナルセックス 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
 4サービスとして提供していない 5答えたくない

4

- 5. ホンパン/男性交 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
 4サービスとして提供していない 5答えたくない
- 6. その他一お書き下さい 必ず使用する 2使用することもある 3使用しない
() 4サービスとして提供していない 5答えたくない
- 7. 上記1~6のいずれのサービスも提供していない

【Q15-1】一番最近のお客さんへのサービスで、コンドームは使用しましたか？
1. 使用した → 6【Q16】へお書き下さい
2. 使用しなかった 答えたくない

【Q15-2】上記Q15-1で「コンドームを使用しなかった」と答えたりにお聞きします。「使用しなかった」理由として、次にあてはまるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. お店から「ナマでしろ」といわれているから
- 2. コンドームを使う必要のないサービス内容だったから
- 3. 相手が嫌がったから
- 4. 相手が「どうしても」と、しつこかったから
- 5. 相手が好みの人だったから
- 6. 相手が馴染みの人だったから
- 7. 指名を取りだされたから
- 8. 男性が勃起しにくく、あるいは勃起を維持しにくくなるから
- 9. お店にはコンドームが準備されていないから
- 10. お店でコンドームの使用が禁止されているから
- 11. そのとき、たまたまその場にいなかったから
- 12. 他の接客方法(ビル・リングなどの妊娠予防策)をとっていたから
- 13. コンドームをつける時、腰内での滑りが悪くなるから
- 14. コンドームの素材でかゆみ、ヒリヒリ感などの症状があるから
- 15. コンドームを買い置きしたり、持ち歩いたりできない状況だから
- 16. コンドームを使って失敗したことがあり、以来、使用していないから
- 17. その他一お書き下さい ()



答えたくない

【Q15-3】上記Q15-1で「コンドームを使用しなかった」と答えたりにお聞きします。その他のサービス内容に、次にあてはまるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 糞挿/すまた (挿入せずに、女性の股間でペニスを刺激する)
 - 2. フェラチオ (男性性器を口で刺激する)
 - 3. 口内射精
 - 4. アナルセックス (肛門性交)
 - 5. ホンパン/男性交 (陰にペニスを挿入する)
- 答えたくない



答えたくない

★ここから、現在のお店以外のことを含めてお聞きします。回答内容はお店の関係者には一切お伝えしませんので、正直にお答えください。

【Q16】過去1週間にあなたがサービス提供した顧客数は何人ですか。
1. 約()人 2. わからない 答えたくない

【Q17】過去1か月にあなたがサービス提供した顧客数は何人ですか。
1. 約()人 2. わからない 答えたくない

【Q18】これまで性的サービスを提供した顧客数は何人ですか。
1. 約()人 2. わからない 答えたくない

【Q19】これまで性的風俗で仕事をするなかで、次のような経験をしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 妊娠したかもしれないと、心配した
- 2. 性器のかゆみやおりもの(膣分泌液)の変化があった
- 3. 性感染症(性病)にかかった
- 4. 相手の變む性行為に耐えなかったため、相手がらさげんになった
- 5. 自分ではコンドームを使いたかったのに、使わずにセックスをした
- 6. 自分がしてほしくない性行為をされた/させられた
- 7. 暴力をふるわれた
- 8. 勝手に写真やビデオをとられた
- 9. 勝手に自分の名前や連絡先(アドレスなど)を外部に洩された

6

★ここから、性風俗でのお仕事以外のことをお聞きします。

【Q20】あなたが人生で初めて男性とセックスをした年齢について教えてください。ここでのセックスとは、男性器の挿入をともなう性行為のことです。
()歳 答えたくない

【Q21】あなたがこれまでに、仕事以外でしたセックスの相手の人数を教えてください。ここでのセックスとは、男性器の挿入をともなう性行為のことです。

1. 約()人 2. わからない 答えたくない

【Q22】あなたがこれまでに、仕事以外でしたセックスをしたとき、次のような経験をしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1. 妊娠したかもしれないと、心配した
- 2. セックスのあとに、性器のかゆみやおりもの(膣分泌液)の変化があった
- 3. 性感染症(性病)にかかった
- 4. 接客方法について、相手と思うように話し合えなかった
- 5. 相手の變む性行為に耐えなかったため、相手がらさげんになった
- 6. 自分ではコンドームを使いたかったのに、使わずにセックスをした
- 7. 自分がコンドームなしのセックスをしたため、使わずにセックスをした
- 8. 自分がしてほしくない性行為をされた/させられた
- 9. セックスのときに、暴力をふるわれた
- 10. 勝手に写真やビデオをとられた
- 11. 勝手に自分の名前や連絡先(アドレスなど)を外部に洩された
- 12. 相手から、ストーカー行為(つきまとい)をされた



7

13. 相手に見下したような態度をとられた
14. 相手に、自分の自愛や性格を高く言われた
15. 相手の自愛や性格がいやだった
16. 自分の中で、精神的苦痛があった
17. その他、セックスのときにいやな経験をした
→お書き下さい()
18. あてはまる経験はない 答えたくない

【Q23-1】一番最近の性事以外でしたセックスで、コンドームは使いましたか?

1. 使用した →【Q24-1】へお進み下さい
2. 使用しなかった 答えたくない

【Q23-2】上記 Q23-1 で「コンドームを使用しなかった」と答えた方にお聞きします。「使用しなかった」理由として、次であてはまるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください

1. コンドームをつけるのが煩いから
2. 相手が嫌がったから
3. 男性が勃起しにくく、あるいは勃起を維持しにくくなるから
4. そのとき、コンドームがたまたまその場になかったから
5. 他の避妊方法(ピル・リングなどの妊婦予防薬)をとっていたから
6. コンドームをつけると、膣内での滑りが悪くなるから
7. コンドームの素材でかゆみ、ヒリヒリ感などの症状がでるから
8. コンドームを買い置きたり、持ち少ないりでできない状況だから
9. コンドームを使って失敗したことがあり、以来、使用していないから
10. コンドームを使うかわからないかは、相手との関係によって決めているから
11. その他→お書き下さい()



答えたくない

【Q24-1】あなたはこれまでに、エイズ検査(HIV抗体検査)を受けたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください

1. ある
2. ない →【Q25-1】へお進み下さい 答えたくない

8

【Q24-2】最後に受けたのはいつでしたか?

- | | |
|----------|---------|
| 1. 1週間以内 | 5. 半年以内 |
| 2. 1か月以内 | 6. 1年以内 |
| 3. 2か月以内 | 7. それ以外 |
| 4. 3か月以内 | |



答えたくない

【Q24-3】どこで検査を受けましたか?

1. 保健所
2. 自分のかかりつけの医師/病院
3. お店の契約している医療機関
4. 郵送検査キット
5. その他→お書き下さい()

答えたくない

【Q25-1】あなたはこれまでに、エイズ以外の性感染症(クラミジアや淋病などの性病)の検査を受けたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください
※性感染症とは、おもに性行为で感染する病気で、ここではエイズ以外の一般の性病を意味します。

1. ある
2. ない →【Q25-2】へお進み下さい 答えたくない

【Q25-2】最後に受けたのはいつでしたか?

- | | |
|----------|---------|
| 1. 1週間以内 | 5. 半年以内 |
| 2. 1か月以内 | 6. 1年以内 |
| 3. 2か月以内 | 7. それ以外 |
| 4. 3か月以内 | |

答えたくない

【Q25-3】どこで検査を受けましたか?

1. 保健所
2. 自分のかかりつけの医師/病院
3. お店の契約している医療機関
4. 郵送検査キット
5. その他→お書き下さい()

答えたくない

9

【Q26】あなたはこれまでに、以下の性感染症(性病)にかかったことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. カンジダ | 6. 淋病 |
| 2. クラミジア | 7. 梅毒 |
| 3. 性器ヘルペス | 8. その他→お書き下さい() |
| 4. B型肝炎 | 9. わからない |
| 5. 尖形コンジローム | |
- 答えたくない

【Q27】性風俗の仕事に関する疑問や悩みがある場合、あなたは主に誰に相談しますか?あてはまるものをすべて選んでください

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 性風俗で働く仲間 | 5. 性風俗で働く仲間以外の友人 |
| 2. マネージャー/経営者 | 6. 家族 |
| 3. 恋人 | 7. 誰にも相談しない |
| 4. 配偶者 | 8. その他→お書き下さい() |
- 答えたくない

【Q28】あなたは、連絡線が安心・安全に働くためには、何が重要だと思いますか? 今回の調査は、研究所のホームページ (info@penba.jp) でも受け付けています。紙でメールで送ってくださっても結構です。



【Q29】このアンケートの感想や、知りたいことや困っていることはありますか? 今回の調査は、研究所のホームページ (info@penba.jp) でも受け付けています。紙でメールで送ってくださっても結構です。

以上で終了です。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました!

研究班では、二次調査としてインタビュー(面接あるいはメールで)を実施したいと考えています。メールでの質問や面接に応じてよいという方は、下記に連絡先をお書きください。回答内容と個人を結びつけることはありませんし、今回のアンケート調査関係にあなたのプライバシーは守られます。

連絡先

★最後にもう一度、回答の間違いや記入漏れがないかどうかご確認ください★

